

事業報告書

1 支援団体名	NPO法人バイオマスワークあったらし会		
2 事業名称	大鶴湖の新しい観光資源としての取組み		
3 実施日時	平成22年11月19日～23日 10時～16時		
4 実施場所	大鶴湖内		
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容) *できるだけ詳細に</p> <p>川内川流域に位置する大鶴湖は、曾木の滝の大瀑布から始まり、鶴田ダムに至る、延長約10kmにもなる大きな湖で、曾木の滝の下流1.5kmには、産業遺産であり電気化学の礎となった旧曾木発電所が春から夏にかけてだけ湖面からその美しいレンガ造りの姿を見せてくれる素晴らしい景観があります。</p> <p>しかし、これまでは曾木の滝公園の紅葉・桜及び滝を陸上から眺める観光が主であり、素晴らしい湖面を利用した観光がありませんでした。</p> <p>そこで、4年前から下流域のNPOと協働で、年一回11月に「秋の大鶴湖船上体験」として連休3日間を通じ社会実験的な取組を進めています。これからは、曾木の滝を訪れる方々に大鶴湖の素晴らしさを水辺から楽しめる船上体験を定期的実施できるように、環境学習やガイド育成等及び情報発信等に取り組み、大鶴湖の新しい観光資源として川内川流域の地域活性化を図りたいと思います。</p>		
	<p>(事業実施効果)</p> <p>今年度は、11月の連休を主にして春から秋にかけ舟を活用した大鶴湖の定期的な遊覧船事業を実施しましたが、大鶴湖の水位は鶴田ダムの洪水調整等の為、湖の水位が変動し、乗船場所の選定や浮き桟橋の改良等と色々と工夫が必要となり、また、舟に関しても安全に快適に乗船して頂くため、試行錯誤しながらの改修が必要となりました。</p> <p>このように試行錯誤しながら、休日(土・日曜日、祭日)を活用した実験的な舟の運行に取り組んできました。</p> <p>その間、ガイドの育成も行い、案内マニュアルを作成し、拡声器(ハンズフリー)を使いながら大鶴湖の絶景スポットを紹介出来るようにしています。</p>		
6 参加内訳	総人数	608名	
	(1) 主催者参加	40名	
	(2) 日本人参加 ((1)を除く)	568名	
	(3) 外国人参加 ((1)を除く)	0名	
7 今後の方針	<p>今後は、下流の鶴田ダムからの来訪者が上流・下流から別々に乗船出来る運航ルートを計画し、大鶴湖に点在する地域特産物(黒豚や鮎等)を紹介しながら、一日中大鶴湖で楽しめる取組みを進め、川内川流域のNPOや関係機関と連携を図りながら船上体験のライブ映像をインターネット等で広く発信し、交流人口の増加に努め、地域活性化を図っていけるように頑張りたいと考えています。</p>		

受付



船着場から受付へ



乗船



船上体験



船上体験



曾木発電所遺構の長寿レンガに触る



一面に広がるウォーターレタス



下船

